

座間市パソコンサポートクラブ  
平成16年度 総会 議事録

2005年3月16日

記録 A グループ井上

日時：2005年3月13日（日） 13:30～16:15

場所：公民館 講座室

出席者：（敬称略）

A グループ	B グループ	C グループ	D グループ	公民館	北地区 文心	東地区 文心	来賓 生涯学習課
井上 小保方 内田 野村	宮地 和田	押田 竹本 多嶋田 橋倉 福田 星野	木下 福島	大久保	花上 植松	本多	鈴木

### 開会の辞・・・福島

下記の会員出席状況から **総会は成立**

3月13日現在 会員総数32名。 出席者14名 委任状14名

### あいさつ・・・・市生涯学習課 鈴木課長

（要旨）

- ・だれでもパソコンを使える地域社会を目指す活動に対し、日頃のご協力を感謝する。
- ・この1年間の、各館での講座の成功をありがたく思う。
- ・きっかけは国の施策であるが、市もすべての市民に「IT社会」の恩恵に浴して欲しいと取り組んで来た。
- ・市民の学ぶ姿勢の高さを認識するが、これを担ってきたのはクラブの活動であると思う。
- ・市では、生涯学習サポートセンターを設置した。
- ・地方分権の動きの中、市民主導で市民の協力がなければやっていけない、クラブの皆さんのご健闘を祈る。

### 16年度活動報告（添付資料参照）・・・小保方

報告 承認不要

### 16年度決算報告（添付資料参照）・・・宮地

**賛成多数で承認**

### 役員改選・・・・橋倉

新役員

会長・・・橋倉    副会長・・・和田    会計・・・木下    書記兼監査・・・井上

**賛成多数で承認**

### 会則改定（案）・・・・和田

おもな追加変更点（部分追加はアンダーライン）

- ・HPの活用

第3条 4) パソコン学習支援情報を市民に提供し、また会員相互の情報交換を行うためにホームページを活用する。

第8条 3) Web会議 役員会が緊急に決定する必要があると判断した場合には、Webを利用して会員の意向を把握し役員会に反映する。この結果はWebで会員に報告する。

・ 会員

第4条 2) 新規会員は、複数会員の推薦のもと、役員会の同意を必要とする。(同意の内容は今後検討)

・ 組織

第5条 1) 本会の活動を遂行するため、複数のグループを結成し、各グループに一人のグループ長を置く。  
グループ長に欠員が生じた時は、そのグループがグループ長を選出する。

・ 役員

5名から4名に変更

・ 権利の保護

第10条 3) 講師マニュアル、講座資料などを他に提供する時は、役員会の許可を必要とする。

## Q & A

Q：第7条 現役のひとには役員は難しいと思うので、役員の任期を2年とすると人員構成から見て無理が生じないか。再任出来るようにならないか。

A：役員会で検討する。

Q：新規会員募集の複数会員推薦の複数とはだれのことか。

A：会員であれば誰でも良い。

Q：第2条の 1)は削除すべき。

A：了承

## 賛成多数で承認

### 17年度活動計画(案)…………橋倉

昨年度の実績のうえに、市のスケジュールだけでなく新しい視点を導入し、両者のバランスを取って行きたい。

#### < 講座の新設 >

- ・「パソコン入門」と「インターネット入門」の一本化。
- ・17年度は各講座とも12時間となったので、「パソコン入門」の一部を二つに分け6時間の初心者向けの「さわってみようパソコン」を新設して、受講者を増やして行きたい。  
この講座の修了者の受け皿として、「相談会」の拡充を図りたい。

- ・年度前半の検討に基づき、後半の講座に生かして行きたい。

#### < 会員の減少 >

- ・活動の固定化が懸念される。
- ・グループ単位からクラブ全体での活動が必要となる。
- ・市の協力で新規会員の募集を計画する。

#### < 教育費予算の動向 >

- ・18年度は機器の更新時期になるので、パソコンのXP化(レンタル)の可能性がある。そのためにクラブへの予算配分への影響が考えられる。

また、将来の想定の話であるが、市の方針がハンディを負ったひとへのＩＴ教育に特化することも考えられるがこれらは当クラブにとり予算圧縮の要因として考えられる。

- ・これらのことから、クラブの自立も含めた今後の進む方向性を探る必要がある。
- ・数年後の課題として、ハンディを負ったひとへのパソコン講座のサポート活動を他の異種ボランティアグループとの協力のもとで行うことも考えられよう。

\* いずれにしても 17 年度は「パソコン入門」系の講座を多く揃えた。市民がどのように捉えるかを注目して行きたい。

< 以上の総括的な活動計画の説明後、添付資料の活動計画の内容に入った >

## Q & A

Q：状況を把握されていることに敬意を表す。

「さわってみようパソコン」と「パソコン入門」とどう違うのか、どうプレゼンするのか「ワード」「エクセル」をどうするのか、止めてしまうのか。

A：1 年やってみて、バランスの見直しをしたい。

Q：「さわってみようパソコン」の修了者は初歩的な状態で終わるので、他の講座を受けられるのか。

A：( 館 ) 3 館で今後検討したい、今は答えられない。

Q：下期「さわってみようパソコン」の担当が決まっていないが。

A：上期を見て決めたい。行うことを前提に 10 月ごろに決めたい。

Q：7 月「パソコン入門」は、2 日で 12 時間はきつくないか。

A：D グループの「ワード」の実績を踏まえ大丈夫だと思う。

Q：「さわってみようパソコン」と「パソコン入門」のテキストはどうするのか。

A：「さわってみようパソコン」は、現在自製テキストを準備中である。

## 賛成多数で承認

### テキストに関し以下の意見交換があった。

- ・インストラクター教育を受けたが、富士通ビジネスより我々の方が受講生に対するノウハウを持っているのではないだろうか。グループそれぞれで違った思いを持っているのではないか、したがって各自テキストを含め受講生に合わせて独自性を持っても良いのではないか。
- ・「さわってみようパソコン」に関しては、同一のテキストは必要ではないか。「パソコン入門」はテキストがバラバラでは効率が悪い。また市の主催では統一性が必要ではないか。
- ・「さわってみようパソコン」のテキストは、最初の講座のテキストを以降の講座の参考にする程度で良いのではないだろうか。
- ・上期の担当の A と C で合同で作ったかどうか。
- ・A と C だけではなくクラブ全体の問題である。

## 17 年度予算 ( 案 ) ( 添付資料参照 ) ・木下

## 賛成多数で承認

## 館より

- ・大久保：「さわってみようパソコン」は広報等クラブと相談してやって行きたい。
- ・植松：「さわってみようパソコン」は、今までの「パソコン入門」の見直しの提案がクラブからあった。  
北「パソコン入門」も昨年と変えて行きたい。  
東「パソコン入門」は館からの申し出による。  
広報も昨年と同じではなく、何ヶ月かまとめて行いたい。当面４～６月をまとめて行う。またチラシの活用も考えている。

## 自由討論

- ・活動は個別にグループで詰めていくが、クラブ全体での討議を継続的に行いたい。
- ・講師のテキスト代を受講生に負担してもらったかどうか。
- ・役員会に対し：会の運営に関して、役員会がリーダーシップを発揮するのは当然だが、結果だけの周知ではなく問題を提起して、検討過程が見えるようにして欲しい。
- ・館に対し：館の施設の違いはともかく、講座の取り組みについて３館が統一性を持って欲しい。
- ・本日公布した会員名簿は未記入が多いがどうするのか。  
これに対し小保方前会長から  
記入についてメールで呼びかけたが、返事の来た方だけの記入となっている。当面グループ内での連絡は独自に取り組んで欲しい。

## 閉会の辞・・・井上

以上